



# みなとしみず

国土交通省中部地方整備局  
清水港湾事務所  
御前崎港事務所/下田港事務所/田子の浦港事務所  
静岡市清水区日の出町7番2号  
TEL. 054-352-4146(代表)  
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

## 藤井事務所長



(藤井 敦 所長)

## 着任のあいさつ

政策研究機構の運輸政策研究所に在籍し、地球的な規模でコンテナターミナルを運営している、いわゆるグローバルターミナルオペレータに関する研究をしておりました。コンテナ物流の世界は大手オペレータの寡占化が進展しており、グローバルターミナルオペレータの動向を調査することにより、我が国のコンテナターミナルの競争力を向上させるために何が必要かを考えたかったためです。研究はまだ途上ですが、ライフワークとして進めていきたいと思っています。

ところで、清水に来てまだ間もありませんが、皆様に着任の挨拶に伺うと、みなと町清水に対する「アツイ」思いを語ってくださる方が多く、良い刺激を受け、また、重い責任を感じました。

私の趣味の一つに写真撮影があります。良い写真を写すためには、「アツイ」心で、シャッターを切るとともに、撮影の後には、撮影した写真の中から客観的に良い写真を選ぶことが大切です。仕事も同じで「アツイ」心を持って進めると共に、冷静で客観的な視点でその仕事の意味を考えながら進めていきたいと考えています。

これから、港の整備を通じて静岡県の各地域の経済・産業の発展のために、そして、県民の皆様の生活の場の安全性・環境の向上のために力を尽くす所存ですので、どうかよろしくお願いいたします。

## 平成19年度 港湾整備事業内容・予算

今年度の当事務所が整備する港は4港で、実施する事業費は次頁表のとおり、約60億円(前年度比1.4倍)となっています。

清水港では平成15年7月に供用開始された新興津国際海上コンテナターミナル(水深15m)のある新興津地区において、港内の静穏度を確保するための防波堤を整備します。また、供用中の岸壁について大型船への対応を図るための整備を行い、合わせて水深15mの泊地の整備を行います。

また、日の出地区においては、老朽化した岸壁の改良を行い、施設の延命化を図ります。

御前崎港では平成16年1月に供用開始された御前崎多目的国際ターミナル(水深14m)のある女岩地区において、港内静穏度を確保するための防波堤整備を推進します。

田子の浦港では昨年度より、中央地区岸壁(水深12m)の工事に着手しており、水深9mでの供用を行っている航路及び泊地の増深(水深9m 水深12m)を行うことにより、船舶の入港制限を解消し、地域産業への負担の軽減を図ります。また、中央地区岸壁は耐震強化岸壁として整備しますので、大規模地震災害時には緊急物資等の海上輸送が確保され、被災直後の復旧に大きな効果を発揮します。

下田港は避難港に指定されており、より多くの避難船舶を守るため防波堤整備を推進します。また、近い将来予想される大規模地震に対する津波防波堤として背後の住民、財産を津波から守る機能も備えており、津波低減効果が期待されます。

## 平成 1 9 年度港湾整備事業費

(単位:百万円)

港名	整備目的	事業費
清水港	新興津地区の国際海上コンテナターミナル関連施設整備 等	3,270
御前崎港	女岩地区の港内静穏度確保の防波堤整備	760
田子の浦港	中央地区の多目的国際ターミナル(-12m)関連施設整備	1,100
下田港	下田地区の船舶の避難と津波対策の防波堤整備	896
合 計		6,026

## 興津国際交流センター2号棟新築工事起工式式典

清水港における国際コンテナ物流量は非常に顕著な伸びを示しており、その取扱個数は過去10年間で約1.8倍にも達しています。県内においてはものづくり産業が盛んであることから、輸出貨物の割合が多くなっていて、「輸出貨物と輸入貨物のバランスをとる」ことが一つの課題となっています。また、企業の物流に対する要求が年々高度化しており、それに対応できるような施設も必要となっています。

以上の背景から、平成10年3月に興津国際流通センターが完成し、輸入貨物利用促進、効率的な物流に貢献しています。しかし、貨物量の増大に伴い施設の増強が必要となったため、さらに2号棟の建設が行われることとなり、3月25日に起工式が行われました。

安全な工事が地鎮祭により祈願された後に起工式が行われ、施主の清水港振興(株)遠藤社長の挨拶に続き、来賓の国土交通省中尾港湾局長(望月副大臣の代理)、静岡県古川土木部長、静岡市福本助役の計4名の方からご挨拶がありました。

安全かつ一日も早い施設完成によって、清水港の物流効率化につながることが大いに望まれています。

興津国際流通センター1号棟



清水港振興(株)遠藤社長挨拶

国土交通省中尾港湾局長挨拶  
(望月副大臣挨拶代読)

## 平成18年度 体験学習による清水港観光交流促進協議会が開催されました

清水港は、平成17年度から「みなと観光交流促進プロジェクト」の指定港となり、体験学習による観光交流の促進に向けた取り組みがなされています。

平成17年度に行われた社会実験などを踏まえ策定された「清水みなと観光交流促進計画」に基づき、平成18年度においては、協議会参加者が協働して生物、環境、歴史などを通じて、様々な観点からの体験学習が実施されました。

3月26日に開催された協議会では、それらの各種活動状況と共に、他港における同プロジェクトの様子も報告されました。また、平成19年度における活動計画や、今後の各者連携や活動評価の手法などについても幅広く意見が交わされました。

清水港をとりまく観光交流に携わる方々は非常に熱心な方ばかりです。今年度も様々な活動を通じて少しでも清水港の観光交流が進むように、努力して参ります。

3/26に開催された協議会の様子



ミズウオの解剖の様子：東海大学海洋博物館

漂着物観察の疑似体験の様子  
：Be-club主催

## 御前崎港に新定期航路(中国)が開設されました

御前崎港の国際海上コンテナターミナルは、平成16年10月から取扱いがスタートしました。それ以降、利用が着実に進み、平成18年における年間取扱コンテナ個数は対前年度比145%の44,780 TEU となっています。

この様にコンテナ物流の好調な御前崎港に、このほど新たに中国向けの定期航路が開設される事となりました。その第1船「J.PIONEER」が入港した平成19年4月7日には、「御前崎港ポートセールス実行委員会」主催による“歓迎訪船”が執り行われました。歓迎式典では、同実行委員会副委員長である西原牧之原市長からの挨拶、花束や記念品贈呈など行われ、最後に、王明芳船長から御礼の言葉を頂きました。

御前崎では背後の企業立地が活発になってきていることから、新規航路による利便性向上も相まって益々の貨物量増加が見込まれています。

また、今回の新規航路就航に加え、更なる新規航路の就航も望まれているところです。

\*TEU：20フィート(約6m)コンテナ換算単位。40フィートコンテナは1個で2TEUとカウントする。

御前崎港西埠頭に無事着岸



写真中央、王明芳船長



歓迎式典を終え、荷役中の様子



## マースクラインの新定期航路(欧州北米)清水港へ初入港

世界的な船舶大型化の傾向の中であって、清水港もその大きな流れを真正面から受けています。

そんな中、世界でも屈指の大きさを誇るコンテナ船が4月10日(火)に、清水港に初入港いたしました。国際貿易の花形とも言える巨大コンテナ船ということもあり、今回の入港に関しては地元新聞にも掲載されるなど、大きく取り扱われているところです。

今後、毎週月曜の朝から夕方にかけて、袖師ふ頭に着岸するスケジュールが組まれています。

袖師ふ頭近辺ではもちろんのこと、日の出ふ頭や三保真崎灯台付近からも、マースカラーの大きな船体が見えますので、皆さん少し港を注意深くご覧になってはいかがでしょうか。

船名	ころんばいん まーすく (COLUMBINE MAERSK)
長さ	347m
積載個数	7,226TEU
満載喫水	15m

タテにすると、東京タワー(高さ333m)より大きいよ!!

しらす漁船と比べると、とっても大きいね!!



# 清水港湾事務所のホームページがリニューアルしました



ホームページアドレスはこちら。

<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>



## お知らせ



御前崎港発「空っ風通信」は、平成19年度より「みなとしみず」と合併することとなりました。10年間ご愛読いただき、誠にありがとうございました。

## みなとづくり見学会

“みなとづくり見学会”とは、地域コミュニケーション活動の一環として、港に関する講座の開設や港内の見学を通じて、地域の皆さんに広く『みなと』の果たす役割を知っていただくために実施しているものです。夏休みには、一般公募での見学会を予定しています。決まり次第ご案内いたします。



海上からコンテナ船の荷役作業を見学

## 管内の主な動き

5月27日	安倍川連合水防演習・複合型災害防災訓練実働訓練	5月26、27日	「第8回 清水港フラワーショー」
-------	-------------------------	----------	------------------

## 海とみなとの相談窓口

全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと

# 0120-497-370

受付時間：9時～12時、13時～17時(土・日、祝祭日は除く)

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください